

## 令和6年度第1回手話施策推進会議

日 時 令和6年5月31日（金） 10:00～12:00

場 所 三木市役所 2階 入札室

出席者 山本会長（兵庫県聴覚障害者協会理事）、梶副会長（関西国際大学教授）、八木氏（三木ろうあ協会会員）、帆先氏（三木市登録手話通訳者協会会長）、岡村氏（三木市社会福祉協議会ボランティア活動プラザみき所長）、川瀬氏（公募）、厚氏（公募）、由富氏（公募）

林主査（学校教育課）【山口学校教育課長代理】

欠席者 野藤氏（三木商工会議所中小企業相談所所長）、藤原氏（三木市区長協議会連合会理事）

事務局 井上健康福祉部長、山本障害福祉課長、増田障害者支援係長、稲垣設置手話通訳者、嵐田設置手話通訳士

### 1 開会

### 2 あいさつ〈会長〉

皆さんおはようございます。第1回目の会議を開催します。

聞こえない人の運動関係についてお話したいです。実は5月に近畿の聞こえない団体が集まって、体育大会が開かれました。場所は明石市、小野市、加西市などを舞台といたしました。

今回は初めてゴルフの競技もオープンな形で開かれました。実はゴルフを入れるのは初めてのことです。会場予約の際に、実のところ大変苦労いたしました。

聞こえない人だけが集まるというと、怪我をしたら困るとか、急な緊急放送があると伝わらないので困るとか、受けられないとお断りされるところが多くて悩みました。

ちょうど三木市ゴルフのまち推進課というところに相談させていただいた

結果、ご協力いただきまして無事に開催にこぎつけることができました。皆様ご協力いただきましてありがとうございました。

聞こえない人のスポーツに関わり、聞こえる人と同等のルールに従って聞こえない人も見てわかる方法に工夫をした形で開催をしています。

まだまだ自由に参加できる土壌はできておりませんが、推進会議の目的も同じで、聞こえない聞こえる関係なくみんなでともに楽しめる、安心して生活ができるまち作りを目指して頑張っていただけだと思います。

今日は皆様と一緒に会議を進めましょう。よろしく願いいたします。

## 資料確認

### 3 自己紹介

### 4 報告事項〈進行：会長〉

#### 令和5年度事業実施状況報告

委員 令和5年度の事業について、事務局の方からご報告をよろしくお願いいたします。

事務局 説明

委員 皆さん何かご意見ありますでしょうか？

委員 昨年度の土曜日に、コンビニで携帯を落として失くしてしまったんです。改めて月曜日にコンビニの方に行ってみましたが、ないと言われたので、警察の方に行きました。そのときに筆談で伝えたんですが、とても時間がかかったんです。通訳もいなかったなので1時間ぐらい筆談で警察の方に伝えたんですが、通訳がいたらよかったなと思いました。なかなか伝わらなくて本当に大変でした。携帯は警察に届けてありました。

事務局 大変な状況に遭われたということで痛み入ります。

そのような委員の状況なんですけども、そういうときは、例えばコンビニでお話されたときにコンビニの店員さんに市役所の障害福祉課の手話の方を呼んでくださいという依頼をさせていただいて、コンビニから市役所の方に連絡があればすぐに駆けつけることができます。

警察も同じように警察の方に市役所の通訳者を呼んでくださいということであればすぐに市の方から駆けつけることができます。

遠慮せずに言っていただければと思います。

ただし、平日に限りますので、土日は申し訳ないですけども、対応できませんので月曜日まで待っていただいております。

委員 通訳の派遣ができる体制っていうのは大事ですね。他の方、ご意見などございますでしょうか？

委員 まずは感想です。(資料1の) 8、9、10ページ。広報の特集記事について、以前もご紹介いただいて、とてもいいものができて、しかも佳作をいただいたということで、とてもいいかなって思います。他にも今たくさん丁寧に説明をさせていただいて、柱にある政策をきめ細かく一つ一つ前進していただいているなと思いました。

例えばこの広報みき9月号を見ていただいた感想とか、ご意見ってどこかに届いたりするんですかね。こんなイベントをしました、参加してこんなことを思いましたとか、市役所の方の講座の感想とか。手話もいろんな行事の双方向のコミュニケーションでさらに質が高まったり新しい良い取り組みに繋がったりしていくと思うので、そういうご意見がどこかで出てくるような、みんなで確認できるような、そういう取り組みもいいなって。例えばQRコードを使って簡単にアンケートを取ったやつが皆さんで共有できると、またこれしてみたらとか、こんなもどうですかとか広がりが出てすぐいいなと思います。

とてもたくさんの方の事業をさせていただいている。その中身が参加された方や、見た方から返ってきて、本推進会議でも共有されて、さ

らにいいものになればいいなという感想を持ちました。

それから 19 ページの市民向けの啓発講座で、やっぱり身近な入口は大切やなって思って、ここからまた専門的な方向に進んでいただけたらと思います。令和 5 年度は 15 名中 11 人が専門的な講座に繋がったと。令和 4 年度以前は 1 人か 2 人だったのに、これが一気に 10 倍に増えたのは何か戦略とかあったんでしょうか。

3 つ目は 25 ページです。小中学校の活動が本当に定着して、しかも、他の講座にも関係者から参加していただいて繋がってとてもいいなと思います。子供たちが手話に、または聴覚障がいの方、またはそれをきっかけに共生社会作りに目を向けてくれたら本当に大きな力やなって思いました。高校生についても取り組んでねいていただいているというので、関係作りができたことはいいなと思います。三木は残念ながら高校が 2 校に三木高と東高に減っちゃうので、減っちゃった部分なかなか寂しいなと思いますが、小中で学んだ子どもたちが多分市内の高校に通っているんですね。

ただ、イベントに参加してくれた高校生 3 人もひょっとしたら小中で講座を受けた効果かもしれませんので、当事者に事実確認するだけでも、次に繋がりますし、どういう 3 名やったのかとか、次はどういう方々をターゲットにして繋いでいくとか、そんな具体的な施策に繋がったらいいなと思います。

事務局

ご質問ありがとうございます。1 点目と 3 点目について私の方から説明の方いたします。おそらくフィードバックをして次へ繋げていくために、KPI などの目標のご指摘をいただいているものと感じております。昨年も、そのようなご意見いただきまして、フィードバックができるようにアンケート調査をやります。という形でご回答させていただいたと思います。今でしたら手話通訳者の派遣を行うときにただ単に派遣で行くだけじゃなくて現場の方々に、ご意見を頂戴するというのをこの 4 月から始めたところでございます。先ほど副会長が言われたように、広報を見てどうやったとか、フィードバックというのは近しい人にはご意見をいただくんですけども、やはり近しくない方々からもどういった意見がいただけるのかということが非常に大事なことは思いますの

で、そういうのがフィードバックできるような意見をいただく場、広報の一部に二次元コードを入れて、この記事を見たご意見いかがでしたかという話かと思えます。そういうフィードバックを取れるような体制作りもこれからやっていく施策に入れていきまして、それが最終的にどう繋がっていったのかという説明までできるように繋げていけるよう努力してまいりたいと思えます。2点目については事業担当の方から回答させます。

事務局

市民向けの啓発講座ですが、今までどうしても専門性のある手話奉仕員の講座に繋がらないということがあったので設置者で考えてみました。

まずは楽しいということに重きを置こうということで体験型を今回増やしてみました。聞こえないということがどういうことを体験していただくということで雑音を流したヘッドホンをつけて、聞こえる人がその聞こえない役の方を、例えば災害時、避難所のところまで案内してみましようというのを体験してみるという方法や、聞こえない役の方に話しかけて、お互いのコミュニケーションがどれだけ大変かということを実際に行ってみました。実際に体験していただくことで、聞こえないってこれだけ大変なんだとか、だから聞こえる人が手話を覚えないと、この人たちは困るんだというのを試してみたところ、とても楽しかったというご意見をいただきました。その結果、次の講座があるというご案内をしたときにぜひ受けたいということで、そのときに広報4月号で載せますので皆さんお願いしますと言ったところ11名の方からご応募いただきましたので、今回のことはやはりよかったなと我々も感じております。

委員

他に何かご質問やご意見ございますでしょうか？

委員

手話サークルでユニバーサル動画に関わらせていただいております。これをYouTubeで流したりすることによって、市民の方からとか聞こえない方からとか、市の職員の方からとか何か感想とかがあったらお聞かせいただきたいと思います。私達のところにはどういう意見があったとかということが聞こえてきてないのでもし何かあったらお願いいたします。

もう一つ小中学校の啓発で、前年度9校で行かれてないところもありますよね。少ない学校は、4年5年6年合わせて3年に1回とかいう話は聞いたことはあるんですけども、例えば三樹小学校とかがここに入ってないんですね。行かれてない理由もちょっとお聞きしたいと思います。三樹小学校出身で三木中出身でとなったら、全くないままで終わってしまわれて、手話に関わってない方も多いんじゃないかなと思いましたので、その辺をお聞きしたいなと思います。

委員 事務局の方をお願いします。

事務局 先ほどのユニバーサル動画に関するのですが、とても内容がわかりやすいというお話をいただいたりしています。市民課の前で放映していますが、ゴミの分別とか、特に聞こえる聞こえない方関わらず、とても内容がわかりやすいということで再生回数も多くあったりはしています。やっぱり市民課の前でお待ちいただいている間に見て、ゴミの分別ではこういうふうな分け方だったのねっていうことでお話は聞いたりしています。図書館のご利用者が増えたりというお話もいただいています。

あと、小中学校ですね。なかなか学校の方に直接赴いてということがなかなかできていないので、三樹小学校から三木中学校に行かれる方は経験されていないという方もいらっしゃると思います。こちらも今後検討していきたいと思います。

事務局 先ほどのユニバーサル動画ですが、例えば13ページの2番目に「教えてゴミの分別 資源ゴミ編」っていうのがありまして、私も見たんですが、例えばマヨネーズの容器を綺麗に洗ったら、プラスチックの資源ゴミになる。でも洗えなかったら可燃ゴミになるっていうのを動画で見せてくれながら、もちろん手話がついています。この状態って、聴覚に障害のある人だけじゃなくてみんなが迷うところを動画をつけて手話をつけてやっているというところで再生回数がだいぶ上がっているのかなと思います。

それといろんな関係課の名前が出てますよね。ここの職員が全部の手話はつけられないんだけど、自己紹介は自分たちでやってい

ます。市の職員の手話を勉強する講座もありますが、なかなかそこまではたどり着かないけれども職員が名前とか所属とかだけでも手話を使うということで、市としてみんなで手話を使っていこうねという機運を高めるということの一つになっているのかなというふうに思っています。

また YouTube の再生回数でもどれぐらい見ていただけたかなというものが少しわかっていただけるかなとも思います。

事務局 補足になりますが、先ほど小中特別支援学校の手話学習のことについて委員の方からご質問があった件です。令和5年度の実施状況ということでご報告させていただいてるんですけども、令和4年度の実施状況の中では三樹小学校のご希望もあって対象は年齢違ってくるのですけれども、そういった状況もあります。教職員の先生方のカリキュラムの都合もあると思うんですけども毎年全ての学校での実施が実現できたらいいなとは思っていますので、この部分についても今後学校教育課等と連絡を取りながら実施してまいりたいと思っております。

委員 ありがとうございます。では他にご意見がないようでしたら、次に進めさせていただきます。よろしいでしょうか

## 5 協議事項

委員 令和6年度から8年度の実施目標数値につきまして、事務局の方から説明をお願いいたします。

事務局 説明

委員 ありがとうございます。今のご発言に対してご意見質問がございましたらお願いいたします。

委員 一つお願いがございます。

実はこの手話施策推進会議に私自身が公募で参加していることに非常に肩身の狭い思いをしております、なぜならばこの手話も十分できない、受けてもすぐ忘れるっていう年代に達しております。お願いは、三木市しゅわちゃんねるで、手話ができない、要約筆記もできない方がどうやったら意思の疎通ができるかというのも、一度

動画でやっていただけないでしょうか。簡単なメモに用件だけ書くという意思疎通の方法があるよ。それが駄目ならば、今流行しているスマホで音声を文字に変えるソフトもありますよ、これを入れながら交互に時間はかかるけど、意思疎通する方法がありますよっていう、手話も要約筆記も知らない方でも意思の疎通が何とかできる。それでもう一つはコミュニケーションボードで意思疎通できますよというふうに素人向け、一般市民向けに一つご検討いただいたら嬉しいなと思います。

委員 大切なご意見いただきました事務局いかがでしょうか？

事務局 貴重なご意見ありがとうございました。

手話、要約筆記だけじゃないですもんね。やはりお歳を召した方には、早く喋られてしまうと聞き取りにくかったり、理解の方が進まない場合もございます。メモで要点だけを絞ってほしいとか非常に有効な手法であると考えてございます。そういったこともあり、実は、令和3年度の方にそのような方向けのしゅわちゃんねる動画を既に作成済みでございます。ただ、おっしゃっていることも非常にわかりますので、これからもそういう目線で手話や要約筆記だけにとらわれない、皆さんがそれを利用していけるような形でしっかりと考え、取り組んでいきたいと思っております。

委員 ありがとうございます。

委員 私は途中で難聴になったのですが、そのときにどうしても聞こえないし、どうしたらいいかっていうことをすごく悩みました。市の方で相談しても手話のサークルに入ってやってくださって言われたんですけど、その手話サークルに入るにしても、ここで三木でしたら手話奉仕員養成講座を習ってないと駄目なんですよね。その講座、実は私入ったんですけど、入ったら今度はそこで音は出してはいけない、言葉を出してはいけないと言われる。だから（音も）入ってもこないし、わずかに聞こえるけれど、誰も話もしてないから、何もわからなかったのが何をしに来たんだろうというのが、私の最初の意見です。基礎講座はしなくてもどっかで手話を学べるような講座、でも要約筆記はついてな

いですよね。だからそこに行っても学べない場合、聞こえないからこそ、学べませんよっていうことであると思うんです。だからそういう途中難聴の人あるいは昔から手話がついていけない人でも何か学べる場所があったらいいなと思いました。

事務局 確かに途中で失聴の場合、手話もわからないですし、そこから勉強するとなると非常に難しいことだと思います。そういう方のために、中途失聴者のためのコミュニケーション教室というものも開催しております。またそういったチラシ等もご案内差し上げようかなと思います。あと、そういう方も受けれる講座を目指して自分たちが開催している講座でも要約筆記とかをつける配慮というところも考えていかないといけないなと、今改めて思いました。この4月から障害者差別解消法の改正がございまして合理的配慮の提供が義務付けとなってございます。その中には、要望があって可能な範囲で対応していくというものがございまして我々市役所としては要望があれば筆談対応であるとか、そういったことも義務的にする必要がございますのでぜひ何なりとお申し付けいただきたいと思っております。

委員 1人も取り残さないっていうともに、手話を学習できる環境を作ることができると思います。

委員 難聴の方でも手話を学べる場所っていうのも、考えていただきたいと思うんですね。私の場合は喋れますが、難聴の方は喋れない方もいますし、小さいときから学校に行かなかった人も結構いらっしゃると思うんですね。そういう人は取り残されていくような感じで、そういう人たちも私見てますので、家族で教えてもらったり、どうしてもちょっと社会には出られない、出にくいというようなところもありますから難聴者のための手話を習うみたいな、そういうのが考えられたらいいなと思いました。

事務局 先ほどご紹介しましたコミュニケーション教室ですね。その中で中途失聴の方また難聴の方のための手話を学べるようになっています。回数が少ないですが、簡単な手話から入れるようにというふうにはなっております。そこから手話にご興味を持っていただけたらというふうを考えて開催するようにしております。

また、その他に難聴者の方のための手話教室であったり、また今後どうしていけばいいのかというふうに考えていければと思っています。

委員 奉仕員養成講座の講師養成っていうところ19番です。4ページで、3名受講したいということが書いてあり、今現在6名しかいない状態なんですけど、聞こえない講師の方が本当に少なく三木の方の都合が悪いときはちょっと他市から呼んだりされてると思います。去年は西脇から40回来ていただいて、交通費も出ずにということで、ご本人から言われることはないんですけど、他の講師の方が、あれはちょっと申し訳ないんじゃないかという声を聞いております。その辺、予算の都合もあってなかなかすぐにはいかないと思いますけれども、お考えいただければなと思います。それから、20番の手話通訳者養成講座Ⅰ、Ⅱ、Ⅲというところなんですけど、毎年どれかしかないじゃないですか。今年は通訳Ⅰ、来年は通訳Ⅱという形になるので、今受りたい人がすぐ受けられない状態であると思います。5市1町でするのであれば、それぞれに受りたい方が何人かはいらっしゃると思うので、できれば三つとも毎年していただければ、これもそれは予算の都合があるので、難しいかなとは思いますが、令和10年度の目標にはそこまで上げていただきたいなと思っております。

委員 事務局の方からお願いします。

事務局 19番のろうの講師を増やしてほしいということなんですけども、ろうの講師だけを増やすと言うとハードルが非常に高くなってしまふかなと思われまふ。広く仲間を増やしていくというのが市役所にある啓発だと思つてますので、限定的にろう講師を増やしていくことは難しいかなと今のところ考えてございます。ただ1人でも多くの方に先生として携わっていただけるようなものを目指して、これからも続けていきたい検討になりますので、こちらの方で続けていきたいなと考えてございます。20番の手話通訳者養成講座のⅠ、Ⅱ、Ⅲ、私も同じようなことを考えておりました。なんで毎年ないのかなというところもあるんですけど、5市1町で開催しているところがございます。それぞれ要綱に基づいて計画

的に実施しているもので、そういうところでしっかり要望として出していったら、毎年開催できるようになればいいかなと考えております。年に3回ほど5市1町で寄って、今年度どうするとか来年度どうするとかいう話をしてしておりますので、まずはそこで手話施策推進会議でこのような意見が出ましたが、皆さんどうですかというようなチャレンジから始めていけたらなと思います。

委員 他にご意見はありますか。次に進みます。その他について事務局の方から説明をお願いいたします。

## 6 その他

事務局 市内小中学校の手話啓発ポスターの募集を9月上旬に締切として行う予定です。次回の開催のときに、ポスターを推進会議委員の皆様にご覧いただき表彰者を決めたいと考えております。

委員 ありがとうございます。2回目の会議を10月頃に予定していますので、また詳しいことは事務局の方から連絡があると思います。協議事項は全部終わりましたので事務局の方にお返しいたします。

## 7 閉会

事務局 委員、進行の方ありがとうございました。それでは本日の次第については全て終了いたしました。閉会の挨拶を副会長よろしくお願いたします。

副会長 貴重なご意見たくさん本当にありがとうございました。事務局の丁寧なご説明をいただいて、新たなスタートの理解がよくできました。ありがとうございました。いろんな意見の中に例えば携帯電話がなくなったのに、1人で行くと1時間もかかるという現実的なまだ課題があり、それから手話を中心としながらも、例えばピクトグラムとかICTを活用しながらさらに手話の活用を広めていくという、義務的というよりも自然に楽しみながら、学ぶ機会が大切だということも出ていたと思います。

今日出していただいた意見を、また事業の実施活動に向けて使っていきながら一步一步前に進めばと思っています。本日はどうもありがとうございました。